

自己評価をする対象者：職員5名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2	1	0	1	・学年で分けた療育を施すこと必要かもしれない（小グループの時）
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1	0	0	0	・毎日いる職員が3人は必要だと思う(全体をまわすためには)
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	0	0	0	・新施設となり床はフラット、扉があることで死角となり工夫が必要
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	3	0	0	0	・見える目標、例えば消毒の徹底とか、達成できたか等 ・特定の職員だけでなく、他の職員の参画が増えるとよい ・伝えるようにしているが、日々変更もあるため周知の仕方が必要、特に非常勤
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	0	2	0	・保護者の思いをくみとりつつ、どのように療育へ反映しているかを日々考えている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	0	0	・地域に向けてもとりこんでいる
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	0	0	3	0	・設置された第三者の他に地域の方がボランティアにくることにより評価していただいている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	0	0	・OT研修で療育内容へ反映させている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	1	0	・細かくきいているため課題を整理し計画へ反映させている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	0	1	0	・ツールとしての確立がとれていないため職員の認識が必要
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	0	0	・職員でプログラム内容と細かく伝え合っている、わからないことも言ってもらっている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	0	0	・長期的なこと短期的なこと単発と分けてプログラムづくりしている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	0	0	0	・固定プログラムと変化のあるプログラム、その日の利用者に合わせて作っている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	1	0	・個別に課題や制作に反映できるよう個別の力についてみきわめ表にて目標をおいている。全体、小グループでも分けて設定
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	0	0	・打ち合わせに可視化し一人ひとりが責任をもつようにしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	0	0	・反省会を10～15分行うことで意識が変わった、。できない時にメモで残す
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	0	0	・日誌、反省会時にケース記録をとり、個別のファイルも反映させている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1	0	1	0	・中間評価、週単位での見直しを行い個別支援計画へ反映している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	1	0	2	0	・ガイドラインの周知が毎年必要
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	0	0	・児童発達支援管理責任者が出席するため課題点や共有点について出して伝えてもらっている

関係機関や保護者との連携	⑲	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	0	0	・送迎時短い時間であるが様子や今後の取り組み方への相談もできている。個別支援計画が学校側へいつているか不明のため共有が必要
	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	0	1	0	・情報共有や見学をさせてもらっている
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	0	0	3	0	・担当者会議にて共有、その後も働く姿を見に行っている
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0	0	0	・児童発達支援管理責任者が行っている
	㉓	地域の児童福祉施設との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	0	0	0	・散歩することで気にしてもらっており公園へ行くと話しかけてくれる
	㉔	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	0	0	0	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	1	0	・送迎時や連絡帳、ブログにて行っている
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等、家庭での関わり方の支援を行っているか	2	1	0	2	0	・職員に行っているため保護者へも知ってもらう機会があるとよい
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	1	0	
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	0	2	0	・「いつでもどうぞ」と伝えているが設定しないと足を運べない雰囲気がある
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	0	0	3	0	・親の会がとりこんでくれている
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	0	0	・共有しあえている
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	0	0	
	㉜	個人情報に十分注意しているか	4	1	0	0	0	・持ち出し禁止や施錠の徹底
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	0	0	・意思疎通が難しい児童に対して表出方法の見出しを行うことを大切にしている、保護者には口頭で伝えるようにしている、良くない事があっても今後の取り組みを伝えつつ真実を話している
㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	0	0	0	0		
非常時等の対応	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0	0	0	・マニュアルや使い方を定期的に行っている
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	0	0	・避難訓練は月1回実施
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	0	0	・こえのかけ方、手のつなぎ方、児童への誘導方法を気を付けている
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	1	0	2	0	・安全面のことを考えて…を保護者へ説明、同意は必ずとる、又個別支援計画へ書いている
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	0	0	3	0	・説明をうけ周知している
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	0	0	・細かいことで職員の意識づけのため書くようにしている